※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 404 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「言語文化」（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | プレミアムカラー国語便覧（数研出版）、新明説総合古典文法（尚文出版）、新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

## ２　学習の到達目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 | 「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 説話<br>［教材］<br>児のそら寝（宇治拾遺物語） | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[読]文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 随筆㈠<br>［教材］<br>丹波に出雲といふ所あり（徒然草） | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>c：上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 近代小説(一)<br>［教材］<br>羅生門 | a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。<br>b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 2学期 | 和歌<br>［教材］<br>古今和歌集 | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>c：和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 和歌<br>［教材］<br>新古今和歌集 | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。<br>c：積極的に古典和歌と自分の体験とを結びつけ、学習課題に沿って本歌取りの短歌を創作しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 歌物語<br>［教材］<br>あづさ弓(伊勢物語) | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。<br>c：積極的に古文を自分に引きつけて想像を働かせ、学習課題に沿って現代語の物語に書き換えようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 俳諧紀行<br>［教材］<br>序・平泉(おくのほそ道) | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c：改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 軍記物語<br>［教材］<br>祇園精舎（平家物語） | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br>b[読]： 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。<br>c：積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 史伝<br>［教材］<br>先従隗始 | a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。<br>b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 漢詩<br>［教材］<br>中国の詩・日本の詩 | a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br>b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c：由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| ３学期 | 近代小説㈢<br>［教材］<br>山月記 | a：文章の意味は、文脈の中で的確に捉えている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>c：人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　６５　）時間